

# 優勝・準優勝インタビュー

# 清流太川

羽地中学校  
学校だより 75 号  
せりゅうおおかわ  
H30. 8.28

# 三者談

最初は緊張して足も動かなくて、思ったところにボールも打てなくてミスばかりしていたけれど、なつとペア組んでいてアドバイスをしてくれるし、取れそうにないボールもボールで攻めてくれたから、嬉しかったです。  
 <Tさん>  
 取ったけれど、すぐ相手に返されて迷惑かてしまった。次への課題は、走る。端から端まで走る。(笑)そして、声も出す。  
 <Oさん>  
 Rが助けてくれて、二日か三日ぐらいしか練習しなかったんだけど、上達が早くて皆がアドバイスをしたら、すぐのみこめて、とてもうまくつたです。Rさん、次もよろしくお願いします。



次への課題は、「怒りません」。試合しているとイライラしてくるのを、それを止めます。ニコニコしておく予定です。  
 <Oさん>  
 二勝しました。サーブはダブルフォルトはしませんでした。今までやってきた練習ができていたので、家でもお母さんとミーティングしながらできました。課題はフットワークです。  
 <Tさん>  
 最初の試合などは緊張してサーブが入らなかったけど、徐々に入るようになって、ボールでできないボールを後衛がひろって取ってくれました。課題は、ボールの方向を予測して、打った瞬間に待つことです。  
 <Tさん>

ソフトテニス部男子は、いつも元気のある朝の挨拶が素晴らしい。一年生で毎日部活動に参加できているのは、Jさん達二・三人らしい。監督、コーチを含めて全体で話し合いが必要かも知れない。  
 第三十五回新報北部地区中学校ソフトテニス大会一年女子団体での優勝、一年男子団体での準優勝、おめでとうございます。この勝利をきっかけに、さらなる技能の向上や楽しくやがいのある部活動を目指して下さい。

N中には負けただけ、四勝で勝ちました。準優勝より優勝の方が良いので、優勝を取れなかったのは、たぶん自分も含めて、練習に来る率が少なかったと思う。<Kさん>  
 一年生部員十四人中、平均五人しか練習に来られていない。相手の後衛やってくるんですけど、相手の位置を見ていないで打ってしまい、打ち返されたりして危ないプレーになってしまっていたので、それをなくしたい。余裕を持ってプレーしたい。  
 <Oさん>  
 一年生全体の課題は、まず毎日の練習に来ること。今日みたいな日には、全員来ているはずなのに、半分以下も来ない状況なので。  
 <Kさん>



三年生になって初めての三者談は、将来の進路や卒業後の進路相談です。目の前に迫る高校入試での志望校の決定・就職相談等は簡単にはありませんので、日頃から自分の将来やりたいこと、そのために準備することを考えておきたいです。

# 初・保護者語り一会 Vol.5



どうにかして学校は連れて行っただけです。本人からしたら(野球の練習にこないで怒られるから)怖かったんだと思います。でも私は、これから社会に出て行く上で、『始める時と終わる時のあいさつって大切』なんじゃないかな、って思っています。  
 何も言わずに、来なくなるという、そんな人になんて欲しくなくて、一生懸命話したんですけど、本人は分かっているのか分かっていないのか解らなくて、ただひたすら黙ってて。それからチックの症状がひどくなって、肩も声も、そして手まで洗い始めて。ずっと手を洗っているんですよ。それをドramaで見たことがあったので、もう怖くなって担任の先生に相談したら、お母さん、カウンセリングを受けてみませんか?と言われました。その時、私は思い出しました。三年の頃、別の子の言動を観察するために、教育委員会からカウンセラーの先生がいらして、その時に、私の息子がとっても気になるって担任の先生に言ったそうなんです。それで、担任の先生からカウンセリングを受けてみませんか?と言われたんですね。その時、私自身はとも一杯で、毎日子育てに追われていて、あー、はい。わかりました。と言ったものの、忘れてしまっていて。そのことを思い出して……。あー、あの時から、あったんだなって思いましたね。  
 <つづく>